

Autodesk AEC Collection

Civil3D による交換標準 LandXML 作成手順書

(「LandXML 1.2 に準拠した 3 次元データ交換標準(案) Ver 1.2」 対応)

2019年6月17日 Ver1.1

目	次
H	次

1.	はじめに	1
2.	準備	2
3.	交換標準(案)への書き出しを行うための設計	3
4.	交換標準(案)への書き出し1	2

1. はじめに

本テキストでは国土交通省国土技術政策総合研究所「LandXML 1.2 に準拠した 3 次元データ交換標準(案) Ver1.2 平成 30 年3月」*1に対応したファイルを出力するためのモデル作成方法と、作成したモデルから交換標 準ファイルを作成する方法を実習します。

*1交換標準(案)は下記にて公開されています。

http://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bunya/cals/information/files/h30_basedLandXML1.2.v1.2.pdf

本テキストは Civil 3D の基礎操作を習熟された方向けに作成されています。これから Civil 3D を使われる方 「セルフトレーニングテキスト(地形データ作成編)」「セルフトレーニングテキスト(道路編)」をご参照ください。 <u>http://bim-design.com/infra/training/civil3d.html</u>にて無償公開しています。

本テキストで必要なソフトウェアは下記の通りです。

Autodesk AutoCAD Civil 3D 2019

・Autodesk AutoCAD Civil 3D 2019 日本仕様 Update1 プログラム *2

*2 下記からダウンロードできます。(サブスクリプション契約に紐づいた Autodesk ID でのサインインが必要です) https://apps.autodesk.com/CIV3D/ja/Detail/Index?id=6027782504161852341&appLang=ja&os=Win64_

Autodesk CALS Tools 2019 3 次元設計データ交換標準対応版 Update1 *3
 *3 下記からダウンロードできます。(サブスクリブション契約に紐づいた Autodesk ID でのサインインが必要です)
 https://apps.autodesk.com/CIV3D/ja/Detail/Index?id=8866254687866144362&appLang=ja&os=Win32_64

🙏 AUTODESK

2. 準備

本手順書で交換標準仕様の LandXML を作成するために「Autodesk AutoCAD Civil 3D 2019 日本仕様 Update1 プログラム」と「Autodesk CALS Tools 2019 3 次元設計データ交換標準対応版 Update1」をインスト ールします。

Step1:Civil3D2019 を起動し、交換標準仕様の LandXML 作成に必要なサブアセンブリがインストールされているか確認します。



Step2: Cals Tools2019を起動し、画面左上に「LandXML コンバート」メニューがあることを確認します。





3. 交換標準(案)への書き出しを行うための設計

Step1: Civil3D2019の起動

スタートアップからテンプレート「国土交通省仕様 20m 測点.dwt」を使って図面を新規作成します。



Step2:平面線形の作成と縦断計画の入力を行う

適当な平面線形を作成し、縦断図に縦断計画を入力します。

また、必要に応じて平面線形に対して片勾配の設定を行います。

(本テキストでは交換標準仕様の LandXML の作成手順を示すためのものであるため、道路設計データは適当な形状で作成して頂いて構いません。ここで使用している地形データは、BIM Design に掲載されているセルフトレーニングテキストのデータを使用しています。)



Step3:アセンブリ(標準断面)の作成 「アセンブリを作成」ダイアログで「OK」をクリックします。



コマンドで「アセンブリの基線の位置を指定」と表示されます。作図領域の任意の場所をマウスでクリックします。画面が拡大され標準断面の道路中心が表示されます。

🙏 AUTODESK

「ホーム」タブの「ツールパレットボタン」をクリックし、「ツールパレット」から「道路」タブを選択します。



「車道」を選択し、「パラメータ」で「Side」=>「Right」、「幅」=>「4」m、SuperElevation=>「Right Outside Lane Slope」として中心線をクリックします。同様に左側の車道も「Side」=>「Left」、 SuperElevation=>「Left Outside Lane Slope」として作成方向等に注意しながら中心線をクリックし ます。

Enter キーを押して確定します。



同様に「盛土切土」を選択し、車道脇に接続します。左右それぞれに作成します。 (パラメータの設定は下図を参照)





「路床」を選択し、道路中心を選択して左右に配置します。 (各パラメータは下図を参照)





AUTODESK.

同様に、「路体」を選択し、道路中心を選択して左右に配置します。 (各パラメータは下図を参照)



アセンブリを選択し、右クリックし、メニューから「アセンブリプロパティ...」を選択します。「アセンブリプ ロパティ」ダイアログから「作図」タブを選択し、「項目」から「基線=>右=>切土盛土」を選択します。 「入力値:」から「BiginPN」行を選択し、「パラメータ参照」項目で「使用」にチェックし、「次から値を取得」 から「車道.OutputPN」を選択します。同様に「「基線=>左=>切土盛土」を選択して「入力値:」から 「BiginPN」行を選択し、「パラメータ参照」項目で「使用」にチェックし、「次から値を取得」から「車 道.OutputPN」を選択し、「OK」をクリックします。



8:	入力値:			
の何右	億名	既定の入力値	パラメータ参照 使用	次から確を取得
品 切土做土	Site	Left		-pl->
₽₩₽ £	BiginPN		V	重成 OutputPN
○ (約主型主)	BarmLut_slope BermCut_Code BarmEll_Code	BermCut, Top		<2005 <2005 <2015
□ del 右 (2)	SlopeCut_Code SlopeFill_Code	SlopeCut, Top		<\$26>
■ maak ● m 左 (3) ■ 加速	<		H	A.1
□中右(3)	出力(值:			
	他名		出力値	
	OutputPN		0.000	



Autodesk AEC Collection Training Text AUTODESK.

Step4:スケルトン(コリドー)モデルの作成

「ホーム」	タノのコ	ルー」を	*選択し	<i>、</i> ます。		
🛕 , 🗅 🖻 🗄 🗧	🕯 🐂 🔹 🕁 🗘 Civil		- =			A
230 ホーム 挿入	注釈 修正 解析	表示 管理	出力測量	Autodesk 360		> Express
2 🔊 🖻 Yr	🔎 測量データを読み込む	🚮 区画 🔹	🕂 線形 - 🗧	🧍 交差点 🔹	🖬 Alebite	:a- • /
×−11.7 x = 7 🛣 😑	-ダ ポイント・	💱 計画線・	₩ 縦断・	🕯 アセンブリ・	📑 横断	出ライン 📝
	🦽 サーフェス・	💕 グレーディング	j 📑 📑 🦷	🕇 パイプ ネットワー	ク・ 🚮 横断	a-• [
パレット 👻	地盤データを作成 👻		1X81	-11		断ビュー
スタート	Drawing1 ×	_4_Section*	× 🛨 📱	択した基線に沿って	コリドーを作成します	Γ
ツールスペース		[-][平面図]	12D 7177- 🧫	CreateCorrid	or	1
4	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	in co		+~	/// ~	

「コリドーを作成」ダイアログで「縦断」を「縦断計画(1)」、アセンブリを「アセンブリ(1)」、ターゲットの サーフェスを「現況地形」として「OK」をクリックします。

A	コリドーを作成	×
名前:	ታርጉ/ወ(ር.P)]ን)	
注釈:	<i>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</i>	Δ
		$\langle \rangle$
コリドー スタイル・		
🜇 мLIT-DV К –	スタイル ♥	🔊 🔻 🏹
コリドー画層:		
398-		Ð
基線タイプ:		
●線形と縦断		
○計画線		
線形		
⇒線形-(1)		v 🗈
和的斤		
🔛 縦断計画 (1)	v 🗈
747.00		
串 アセンブリ(1)		✓
		0
ターゲットのサーフェ	7:	
		V 🔤
▼基線とリージョン	のパラメータを設定	
ОК	キャンセル	ヘルプ

下図矢印箇所のボタンを押してコリドー測点の間隔を設定します。



「アセンブリに適用する間隔」ダイアログが表示されるので、下記の通り設定します。 (標準の設定ではコリドー横断を作成する間隔が細かく設定されているため、不必要な横断を作成しな いように間隔の設定を行います。)

	68	1	\$2.2.1.1.2.4.4.0	(#
		1 1	O/LDI IN FIL	IE
		2	田 コリドー優価	
	20.000m	2		
	増分で		□ 水平基辙	
	20.000m		连续区期	20.000m
	0.100m			20.000111
	20.000	1 2	田錦区間	増分で
	1417	1	曲線の描分	20.000m
		3	CENTRAL PROPERTY AND	20.00011
	1000.000m	1	曲率を定義する中央統距	0.100m
	LIGNE		經和曲線区開	20.000m
	1/6/12	2	AND A MEDIANAL COMP.	20.00011
		5	平面線形変化点で	はい
٤.,	tto	3	接紙句配換的付け限要式からで	11117
拫	an		1900 FAGILI II OFSTOPROPERTO FC	0.000
	<40	5	□ 重直結準	
		{	縦断曲線に沿って	1000.000m
		į	垂直ジオメトリ ポイントで	いいえ
		Ę	高/低点で	いいえ
注釈	1	244	🖃 オフセット ターゲット	
		1	オフセット ターゲットのジオメトリ ポイントで	はい
		t t	オフセットターゲットの開始/終了に隣接	はい
		5	オフセット ターゲット カーブ沿い	<なし>
		1	曲線の増分	25.000m
	キャンセル ヘルプ	↓ ↓ ↓	曲率を定義する中央縦距	0.100m

🙏 AUTODESK

Autodesk AEC Collection Training Text

「基線とリージョンのパラメータ」ダイアログで「OK」をクリックします。



「コリドープロパティ」ダイアログで「コリドーを再作成」を選択します。



Step5:コリドー横断の追加(切り盛り境、ダブル断面) 画面上でコリドーを選択し、右クリックします。



メニューが表示されるので「コリドー横断を追加」=>「横断を追加」を選択します。

コリドーに沿って右上図のように「赤線」が表示されるので、切り盛り境等の追加で横断を作成する位 置を追加します。(ダブル断面等を作成する場合は続けて位置を指定し、横断を追加します)

Step6:サーフェスの作成 コリドーを選択し、右クリックメニューから「コリドーサーフェス」を選択します。



「コリドーサーフェス」ダイアログで、「サーフェス作成」をクリックし、「コードを指定」で「Top」を選択し、 「+」をクリックして追加します。

			コリドー サーフェス	t - DJK (1)			
-717、 地界							
7-1 7-1 8 8 8 8	9年6月10 クライブ リンク			- 「 - ドを修定 Top		~ [a) ×
名前		サーフェス スタイル	レンダリング マチリアル	ブレークラインとして追加	オーバーハングの福正	注釈	
□ @ 20F-9-2	717 - (1)	MLIT-検客ゆコパー サーフ	🖄 ByLayer	Q.	なし		
С 🚉 🕈 Тор							
					06 200	- Mare	017
					4720	100	100

同様に、サーフェス作成—>SubBase、サーフェス作成—>SubGrade をそれぞれ追加します。それ ぞれの名称を「道路面」、「路床面」「路体面」とします。

	(情報) パ5メータ コード 計画線 サーフェス 境界 勾配パターン
A フリドー リーフェス・ゴリドー ~ (1) ×	データがう データがう コードを復定 マー マー アーク ジェア マー マー
γ-5180s γ-5180s γ-543,5 γ-1468.5 [B_10,0] [B_10,0] [B_10,0] [B_10,0]	名前 サーフェス スタイル レンタルグ マテリアル ブレーウラインとして追加 ● (血) 「反面接面 Mu.Tridg有のコリドー サーフ… (血) PVLのwr (血)
名冊 サーカンスカケ(6 レンダウガマア/76 フレーサランスはない オーバーバングの用田 注釈 ○ (金*) ダンドーサーカンス・(1) MLTに表現のシバー サーン、(合 BAGNAY ④) 10.0	□ ● 像 [*] ■ 勝麻面 MLT-線界のコリドー サーフ 会 ByLayer を
- 時、Top 中 保 (2)パーサーフ22・(2) MLIT機能和2パーサーフ-、 (2) ByLayer	日、 SubBase RuiT-境界のコリドー サーフ ByLayer
	E B SUBCRASE

続いて、「境界」タブに移り、各サーフェスを右クリックし、「外側境界としてのコリドーの領域」を選択し ます。3つとも選択したら「OK」をクリックしサーフェスを作成します。コリドー再作成のダイアログで再 作成を選択します。

٨		コリドー サーフェス - コリドー -	(1)		×
サーフェス 境界					
名前	注釈	レンダリング マテリアル	定義	使用タイプ	コリドー プロパティ - 再作成
- 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10	予約後天常としてのコリテーの構成 日前の外に回い 対応式で追加	ByLayer		外側の境界	▲ コリドー定義が変更されました。再作成する必要があります。どの トンに如理しますか?
ロー語 コリドーサーフュ ー 語 コリドーサーフュ	ポリコンから追加 使をクリップオードにコピー クリップオードにコピー	ByLøyer	0, 30F-24887	27680年5 外側の境界	8.7CU2+±08.7W :
	两表示				→ コリドーを再作成 コリドーが再作成され、変更が適用されます。
					⇒ コリドーを未更新としてマーク 変更は保存されますが、後でコリドーの再作成が実行されるまで、それらは反映されません。
			ок	##>世ル 道用	ボに現在の設定で実行する ギャンセル

Step7: 横断抽出ラインの作成

「ホーム」タブの「横断抽出ライン」を選択します。

Δ.	D D	86) (n -	r> - }	🕽 Civil 3	BD		•	-					Aut	odesk	(Auto	CAD	Civil	3D 20)17	_4_サ-
C3D	ホーム	挿入	注釈	修正	解析	表示	管理	出力	測量	Autodesk 360		パニ	アドイン	ラスタ・				River	Expr	ess Tools	
S	<u>∼</u> [Ϋ́Υ	🔎 測量	データを診	きみ込む	8 20	⊑ +		線形 -	∰ 交差点 ·		<mark>ه</mark> ۹	縦断ビュ・				. ว	+ ‡+	移動	🔿 回載	
N-1	70-7	F 😑	- ポイン			🐉 ita	画線 ▼	Ľ	縦断・	📫 アセンブリ・		51	橫断抽出	おイン		🥑 🔹	, - °	- 😘	複写	🅼 鏡傳	k (
5-10			🛃 サーフ	ルス -		💕 グレ	ーディング	- 🕅	コリドー	ፓ ᢪ パイプ ネットワー	-ク -		10000000 10000000000000000000000000000	ホリーン	e-+	4 ⁰ 4					مد مد ا
	パレット 👻		地盤テ	ータを作り	或 -				設計 👻			縦断と		面山 ノ1. 由山 ニイ	ノンを作成	1. 20平2	r=¥∆-57		げ追守の	制占不堪服	を作成
			Drav			_4_ U -	フェス完成	Ż×	+				します	анц <i>у</i> -1. •	21E1 F/48	0.498012			218 AE 07		ICT FAX
ツ-	ルスペーフ	ζ								[-][平面図][2	יזר ס	ヤフレー	/ 🔜 c	reateS	ample	Lines					

コマンドラインに「線形を選択」と表示されます。そのまま「Enter」キーを押します。 「線形を選択」ダイアログが出てくるので、「線形—(1)」を選択し、「OK」をクリックします。

Α	線形を選択	×
名前 112 線形 - (1)		
	OK キャンセル	

「横断抽出ライングループを作成」ダイアログで、「抽出」項目にすべてチェックが入っていることを確認の上「OK」をクリックします。

Ą			横断抽出ライ	ン グループを作成			×
名前: 預期指出ライング	ループ - <〔次のカウンタ(CP)]>		R	横断抽出ライン スタイル	。 イン スタイル	v 🗾 •	
注釈:			^	横断抽出ライン ラベル	スタイル: 出ライン ラベル スタイル	v 💽 •	5
線形: 線形 - (1)			×	横断抽出ライン レイヤ: 横断抽出ライン			₿
抽出するデータン	- スを選択:	14111		25/4	48461 / Se	東部市、ビ	
	現況地形	1825		スタイル MLIT-横断スタイル	横断	動的	
12 12	コリドー - (1) コリドー - (1) 道路面		 ✓ ✓ 	コード セット スタイル MLIT-横断スタイル	コリドー横断 横断	動力自行 動力自行	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	コリドー - (1)路床面 コリドー - (1)路体面			MLIT-横断スタイル MLIT-横断スタイル	横断 横断	動力8勺 動力8勺	
1					ОК	**)t11 N	1

「横断抽出ラインツール」で「測点の範囲から…」を選択します。「測点の範囲から横断抽出ラインを作成」ダイアログでパラメータを確認し、「OK」をクリックします。

測点の範囲から横断抽出ラインを作成

	プロパティ	值
	日一般	
	線形	線形 - (1)
	 割点範囲 	
	線形の始点から	True
	開始測点	0+00.00m
	線形の終了まで	True
	終了測点	4+70.12m
	□ 左抽出幅	
	他線形まで延長して抽出	False
	線形	總形 - (1)
	權	50.0000m
	□ 右抽出幅	
	他線形まで延長して抽出	False
	線形	線形 - (1)
	12	50.0000m
	日 増分の抽出	
	増分を設定して抽出	True
	増分の基準	絶対測点
	間隔-接線	20.0000m
	間隔-曲線	20.0000m
所抽出ライン ツール	間隔-線和曲線	20.0000m
	□ 追加抽出コントロール	
	範囲の開始点で	True
王の方法: 測点から 線形名: 線形 - (1) 成 測点の範囲から	範囲の終了点で	True
	平面線形変化点で	True
	横断勾配摺り付け限界測点で	True
画面のポイントをクリック		
パレット 地盤データを作成 - 設計 - わ 四方のガロニク 赤沼田 断	OK	キャンセル

抽出ラインが下記のように作図されます。作図されたら「Enter」キーを押します。



20m ピッチおよび線形変化点等の位置には自動で横断抽出ラインが作成されます。 コリドー横断編集でを横断を任意に追加して箇所には、手動で位置を指示して横断抽出ラインを作成 します。(自動的に 20m ピッチで抽出ラインが作成されたあと、カーソルが平面線形に沿って移動しま すので、任意の位置を指示することができます。)



「Enter」キーで確定すると、横断抽出ラインが作図されます。

4. 交換標準(案)への書き出し

Step1: Civil 3D から LandXML1.2 を書き出し

出力を行う前に書き出し設定をします。「ツールスペース」の「設定」タブから、一番上のフォルダを右ク リックし、「LandXML 設定を編集。。」を選択します。「LandXML 設定」ダイアログで、識別要素を書き 出しを「オン」にし、作成者等の情報を入力し、「OK」をクリックします。

79-1	Drawing1 ×	_6_Surface* × +	LandXML	設定6_Surface - ロ ×
ツールスペース	s. 87 ?	[−][平面図][2D ワイヤフレーム ^C e [®]		値 オ ^ン 山田沈郎
やティブ図面設定表示 □ _6_Surface	✓ ✓<	·····································	電子メールアドレス 会社 会社 URL 日 ・ ***********************************	oBecom ○OHF式会社 http://www.autodesk.co.jp/ 回答:1 角度小板 DMS (DDD MMSSSS) オフ
■ 「「「」」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」	レ	イルの既定を編集 設定を編集 クの毎亏110	日本10-1歳を出りが170×100 日本10-1歳を出りが cons 日本10-1歳を出し 水0-1余塔(市谷北) 水0-1余塔(市谷北) 水0-1余塔(市谷北) 水0-1余塔(市谷北) 日*201-2 日*201-2 <td>0.0 発生放送税 完全な送税 がた だフ 0.0011m オフ</td>	0.0 発生放送税 完全な送税 がた だフ 0.0011m オフ
 ■ ● ポイント ■ ● 点群 	再表示		サーフェステータ 法域 区画書を出し設定 区画の方向 9 線記者を出し設定 検明を書き出し	ポイントと通 オフ 右回の オン
 ● (分) サーフェス ● (引) 区画 ● (○) グレーディング ● (□) 線形 			接社 URL 作成者の会社の URL	OK キャンセル 道用 ヘルブ

「出力」タブから「LandXML に書き出し」を選択します。

A-) fn -	÷- ¢	Civil 3								Autode	sk AutoCA	D Civil 3
C3D	ホーム	挿入	注釈	修正	解析	表示	管理	出力	測量	Autodesk 36	0 ヘルプ	アドイン	Express Tools	注目アプリ	BIM 360
ľ	.	NŶ	N				F a /	ページ設定	管理		<0>		🔆 ポイントを書	き出し 🌋	🖁 Civil オブジ
E E	<u></u> フレームを		構断シート	を印刷	r ⊡⊒	7.12	- 💐 i	羊細を表示		IMX TMX を書き出す	LandYMI	Civil 3D 🕅	👝 🖹 ポイントを変	換 🗧	Storm Se
	版	作成	作成	C 65463	印刷	7004	40	プロッタ管理	1	THA CECH	に書き La	ndX /L (2	書き出し		s Max (
	平面	回作成				EDA	1				- CI	n sD オブジ	江クトを LandXML 用	10式に書き出し	ます
			Draw		×	_6_Su	face*	×	ŧ.			LandXM	LOut		
	1 7 48 7	7							•===			-			

書き出すオブジェクトとして、「サーフェス」、「線形」、「コリドー」を選択し、「OK」をクリックします。





「LandXMLを書き出し」ダイアログで任意の名称を付け「保存」ボタンをクリックします。

Step2:片勾配情報をCSV で書き出し

画面上で平面線形を選択すると、リボンメニューが下図の通りに変更されるので、「横断勾配摺り付け」 ==>「ビュータブエディタ」を選択します。



表示された横断勾配のビュータブエディタの上部にあるボタンを押します

間勾配摺り付け曲線	構断勾配摺り付けデータを書き出す	路肩の外側	左レーンの外側	右レーンの外側	右路肩の外側
- 曲線(C).1					
│ 内摺り付け区間	1+60.11m +2+10.11m +50.000m				
= ランアウト	1+60.11m + 1+72.61m + 12.500m				
標準クラウンの終了	1+60.11m +	-2.00%	-2.00%	-2.00%	-2.00%
レベル クラウン	1+72.61m +	-2.00%	-2.00%	0.00%	0.00%
<u>⊨</u> .流出	1+72.61m +2+10.11m +37.500m				
ー レベル クラウン	1+72.61m '*	-2.00%	-2.00%	0.00%	0.00%
内側保護路肩勾配	1+85.11m +	-2.00%	-2.00%	2.00%	2.00%
リバース クラウン	1+85.11m +	-2.00%	-2.00%	2.00%	2.00%
- 最大片勾配の開始	2+10.11m +	-6.00%	-6.00%	6.00%	6.00%
曲線を開始	2+10.11m				
● 外摺り付け区間	2+33.30m +2 2+83.30m +3 50.000m				
流出	2+33.30m +2 2+70.80m +3 37.500m				
- 最大片勾配の終了	2+33.30m +	-6.00%	-6.00%	6.00%	6.00%
内側保護路肩勾配	2+58.30m	-2.00%	-2.00%	2.00%	2.00%
リバース クラウン	2+58.30m -1	-2.00%	-2.00%	2.00%	2.00%
レベル クラウン	2+70.80m "- }	-2.00%	-2.00%	0.00%	0.00%
ランアウト	2+70.80m 2+83.30m 2 12.500m				
ー レベル クラウン	2+70.80m ************************************	-2.00%	-2.00%	0.00%	0.00%
標準クラウンの開始	2+83.30m +	-2.00%	-2.00%	-2.00%	-2.00%

「CSV に書き出す」ダイアログで任意の名称を付け「保存」ボタンをクリックします。

Step2: Autodesk CALS Tools で交換標準の拡張属性を付与して書き出し

Autodesk CALS Tools を起動します。起動ダイアログで「キャンセル」をクリックします。



「ホーム」タブから「LandXMLコンバート」を選択します。



先ほど Civil 3D から書き出した LandXML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

💧 AUTODESK

路線、中心線形、座標参照系を下記のように入力し、「片勾配すりつけ情報」ボタンをクリックします。

▲ 線形 - (1)	測地原子 日本測地系2011 ~
	鉛直原子 T.P(東京湾中等潮位) ~
	TPとの標高差 0.0000 m
	水平座標系 9:第IX系 ~
● 路線	
 道路 	1
○河川 ○左岸 ○右岸	
● 中心線形【線形(1)】	
測点間隔	
(主測点間隔 20.000 m) 線形要索情	
(片勾配すりつけ	「情報) 「LandXML12L2準Uた3)次元設計テータ文換標準(案) Ver.1.2」

「片勾配すりつけ情報」ダイアログが表示されるので、下記の通り入力し「片勾配すりつけ拡張情報」ボタンを押します。

表示された「片勾配すりつけ情報」ダイアログ左下のある「CSV 読込み」ボタンを押します。

片公配すりつけに付殖する情報 直線部横断公配 -2.000 % 車線 ● 多車線:道路 ● 多車線:道路 片公配すりつけ拡張	片勾配すりつけ情報	★ ■ 片勾配すりつけ拡張情報	×
	片公配すりつけに付随する情報 直線部横断公配 -2.000 % 車線 ○一車線道路 ◎多車線道路 片公配すりつけ拡張情報 ✓ OK ★ キャンセル		

先ほど Civil3D から書き出した CSV ファイルを読み込み「OK」ボタンを押します。



「片勾配すりつけ情報」ダイアログの「OK」ボタンを押します。





Autodesk AEC Collection Training Text AUTODESK. 「出力」ボタンを押して LandXML の変換を実行します。

LandXML32/(-ト	>
□-● 路線 □● 線形-(1)	座信参照系 期地原子 日本期地系2011 ~ 約近原子 「FF(東京海中等潮位) ~ TFとの標志差 00000 m 水平座標系 9:第D係 ~
 ● 路線 ● 道路 ○河川 ○左岸 ○右岸 	
中心線形 (線形_(1)) 沸点間隔 主決点間隔 20000 m 浜広観客 加 m 秋元観客 加 m 秋光要参情報 浜広観・方辺(前路)	「Land/ML12に集にた30大元統計デーが交換標準(第2)Ver.12」 に準拠したLand/MLを出力します。 ダ 出力 メキッンセル

「名前を付けて保存」ダイアログで、別の名前を指定して「保存」をクリックします。正常に書き出される と下記ダイアログが表示されるので「OK」をクリックします。

I	A	名	前を付けて保存		×			
1	(<>) → ↑ () → PC	→ ボリューム (D:) → 20161110CUG → datase	t		✓ C datasetの検索			P
	整理 マ 新しいフォルダー						• ==	0
		名前 ^	更新日時 2016/11/09 19:15 2016/05/06 12:24	種類 XML ファイル XML ファイル	サイズ 2,881 КВ 2,678 КВ			~
	ファイルの種類(T): LandXN	4Lファイル (*.xml)			(保存(S)	キャンセル	`
Г								



オートデスク株式会社 〒104-6024 東京都中央区晴海 1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX24F

AUTODESK、AUTODESK ロゴ、その他オートデスク製品名は、オートデスクの米国およびその他の国における商標または 登録商標です。その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

🙏 AUTODESK

Autodesk AEC Collection Training Text